

第 38 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議 事 録

1. 開催日時 令和元年 7 月 30 日（火） 10:00～11:30

2. 開催場所 奈良市役所 北棟 6 階 第 22 会議室

3. 出席者

副 会 長 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井聡
委 員 近畿運輸局奈良運輸支局長 伊藤徳男 （代理） 松尾剛志
委 員 近畿地方整備局奈良国道事務所長 原久弥
委 員 奈良市自治連合会代表 尾形季久雄
委 員 公益社団法人奈良市観光協会会長 乾昌弘 （代理） 門脇信義
委 員 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課長 梅澤浩二
（代理） 伊藤毅
委 員 近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部長 金口正幸
委 員 公益社団法人奈良県バス協会専務理事 井上景之
委 員 奈良交通株式会社乗合事業部統括部長 米田佳弘
委 員 奈良県タクシー協会専務理事 葛城滝男
委 員 奈良県タクシー協会奈良市部会 代表 黒利起
委 員 奈良県奈良警察署長 中岡伸一 （代理） 平川章
委 員 奈良県警察本部交通部交通規制課長 村上一雄
委 員 奈良県奈良土木事務所長 木村道仁
委 員 奈良県県土マネジメント部次長 津風呂雅彦
委 員 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局次長 入口和明
委 員 奈良市都市整備部長 荻田勝人

（欠席）

会 長 奈良市長 仲川げん
委 員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長 霜永勝一

4. 議事

◆事務局からの説明

- (1) 平成 30 年度決算と監査報告
- (2) 平成 31 年（令和元年）春期の取組内容と結果
 - ・取組状況
 - ・連携計画の目標達成状況
- (3) 令和元年秋期の取組内容（案）
- (4) 連携計画の見直し方針
- (5) 設置規約等の改正

◆審議内容（主な意見）（●：委員の意見 ○：事務局回答）

(1) 平成 30 年度決算と監査報告について

- 資料 1【監査報告】説明
- 異議なし

(2) 平成 31 年（令和元年）春期の取組内容と結果について

- 資料 2【平成 31 年（令和元年）春期の取組内容と結果～取組状況～】説明
- ぐるっとバスは若草山麓ルートへの導入や平城宮跡ルートから大宮通りルートへの変更により、利用者が増加しているのか。平城宮跡ルートから大宮通りルートへの変更はどういった内容か。またオペレーションコストやバスの運行本数は増加しているのか。
- 平城宮跡ルートは平城宮跡の北側を迂回していたが、大宮通りルートは春日大社から平城宮跡までの直線ルートとした。またコストの追加負担はない。本数は休日に加え平日も運行しているので増加した。
- ぐるっとバスのルートを見直したことによって、利用者が増加したのか。またバスロケーションシステムは新しく導入したのか。今回、利用者が増加したことについて、バスロケも関係しているのか。
- ルートを見直したことで増加した。今年度バスロケを導入したが利用者増加とバスロケとの関係性については追跡できていない。
- ぐるっとバスの満足度が高くなった原因は何か。
- 平城宮跡ルートはこれまで 20 分間隔で運行していたが、大宮通りルートに移行後は 15 分間隔に変更し、運行頻度が増加したため、混雑も緩和されたことが原因の一つであると考えられる。
- 木簡型一日乗車券については、平成 31 年春期の紙式の販売実績がないのはなぜか。
- 木簡型一日乗車券が完売次第、紙式を販売している。今年度は木簡型一日乗車券が完売しなかったため、紙式を販売していない。

- 木簡型一日乗車券の認知度が減少していることについて、何か原因は考えられるのか。
- JR 奈良駅での木簡型一日乗車券の販売枚数が減少している。ぐるっとバスの平城宮跡ルートから、大宮通りルートへの変更により、JR 奈良駅を経由しないようになったことが原因の一つとして考えられる。

- パーク&ライド（以下、P&R）についてはミ・ナラー第二駐車場を新規に開設したことで、最大利用台数は増加している。一日の平均利用台数も昨年と比べて3割程度増加している。一方で、渋滞については過年度から変化はみられなかったということか。春日大社方面の渋滞長は増加しているが渋滞状況が変わらない原因は何か。
- 県庁東交差点西側で、今年度の春期は9時20分より100分間渋滞が続いた。今年は例年と違い朝早くから渋滞になっており、P&Rの開始前にピークとなっている。春日大社駐車場に向かう車が多く、交通量については過年度と同程度となっている。

- 春日大社駐車場が混んだ原因は何か。渋滞長の調査日が1日のみだが、休日全体の渋滞長は減少していた可能性もある。渋滞長についてはこれ以上の情報がないということか。
- 関連して、過年度に大仏殿交差点で誘導員が春日大社へ向かう車両を迂回させて、渋滞緩和が図れていたが、今年度も同様に実施したのか。
- 昨年度と同様に大仏殿交差点での誘導を実施したが、それでも春日大社方面へ向かう車が多かった。

- 今年度はゴールデンウィークが10連休であったがその影響はあるのか。
- 例年と違い連休が長かったため、来訪者は分散されていたが、令和元年になり、春日大社では特別御朱印の販売もあったため、直接的な原因は不明であるが、春日大社駐車場が混雑したと考えられる。

- 中心部に流入する交通量については変化がないのか。
- 県庁東交差点の全方向の交通量については、今年が23,000台、平成30年度以前については、27,000~28,000台程度となっており、やや減少している。

- JR 奈良駅地下駐車場利用者への木簡型一日乗車券の配布は実施していないのか。
- 今年度は実施していない。

- 昨年度はJR 奈良駅地下駐車場をP&Rで利用してもらうことで渋滞を緩和していたが、今年度は、木簡型一日乗車券の配布を実施しなかったことで、その分の流入量が増加しているのではないかと。これが原因で渋滞が増加しているのではないかと。
- 今年度は木簡型一日乗車券の無料配布は実施していないが、JR 奈良駅駐車場の料金を1500円から700円に変更した。またP&Rの利用者であるかどうかは不明であるが、駐車台数は増加している。5月3~5日の平均入庫台数は、平成29年で364台、昨年はキャン

ペーンをしており 637 台、今年は 700 円に値下げをして、450 台となった。

- JR 奈良駅地下駐車場での木簡型一日乗車券の無料配布をやめて、料金の値下げをしたが、1 日平均 200 台近くの利用者が減少している。P&R の利用台数は、76 台増加したが JR 奈良駅地下駐車場では 200 台減少していると考えられるため、結果として中心市街地の流入台数が増加しているのではないか。
- 中心市街地の駐車場の料金は、1 日 1000 円の駐車場が多い。これでは、P&R の駐車料金無料のメリットがあまり感じられないのではないか。料金による駐車台数のマネジメントは民間のコインパーキング含めて取り組む必要がある。まずは中心市街地の料金を把握し、土日の混雑時に駐車料金を増額することが、渋滞緩和と P&R の利用促進につながるのではないか。
- 資料 3【平成 31 年（令和元年）春期の取組内容と結果～連携計画の目標達成状況～】説明
- P12 で、春期について P&R 利用台数は減少したという説明だが、平均利用台数は、平成 31 年のミ・ナーラの 101 台を足すべきではないのか。
- 連携計画のモニタリング指標としては、国道 24 号高架下駐車場と奈良市役所駐車場の台数としているため、問題ないと考えている。
- 天理駐車場、中町駐車場、奈良阪駐車場でも P&R 実施していたが結果に反映されていない。P&R 駐車場全体で見なければならぬため、JR 奈良周辺の駐車場も含めるべきである。連携計画の指標に縛られることなく、ミ・ナーラ第二駐車場の利用台数の結果についても報告すべきである。また、P24 でぐるっとバス利用者は減っているという記述があり、資料 2 の P3 を見ると、平成 31 年度 4 月は減っているが、全体的に増えている印象を受ける。これは何故なのですか。
- 資料 2 は 4 月から 6 月の集計で、資料 3 は GW だけの集計のため、その期間では減っていることになる。
- 承知した。
- いくつか深刻な話があり、P3 の旅行速度だが、ここ数年で、史上最低になっている。この原因を分析し対策を考える必要がある。これは深刻な問題である。P5 で、モビリティ・マネジメントをやっているが、事業所割合が年々悪化している。指標としてはかなり深刻な問題である。P10 も更に深刻で、公共交通分担率も悪化している。67%から 62%になっている。5%も分担率が悪化している。入込客数が増加する一方で分担率が減少することは、道路が大変混雑しているように考えられる。今回はあまり取組の成果が出ていないという解釈になる。PDCA サイクルの中でこれらの課題は見直す必要がある。

(3) 令和元年秋期の取組内容（案）について

- 資料 4【令和元年秋期の取組内容（案）】説明
- これまでと比較して駐車場の時間を変更するなど、変更したところはあるか。

- 詳細については、現在検討中であるが、春期の交通対策の際に県庁東交差点で朝早くから渋滞したこともあり、JR 奈良駅駐車場で P&R 利用者への木簡型一日乗車の無料配布キャンペーンを朝早くから実施するという方向で検討中である。
- 方針としてはよいが、春に検討された内容で改善可能なところがあれば、取り入れていただきたいと思う。

(4) 連携計画の見直し方針について

- 資料 5【連携計画の見直し方針】説明
- 異議なし

(5) 設置規約等の改正について

- 資料 6【設置規約等の改正】説明
- 異議なし

以上